

# 私の街の…第2回… コーディネーター

コーディネーターとは(地域によって名称は異なります)学校外部にある教育力を学校内外の教育活動に効果的に導入するために、学校と外部の教育力をつなぐ役割を果たしています。学校内にコーディネーターがいることで、教員はコーディネーターとともに授業を組み立て、実践に臨むことができます。

## 地域と学校をつなぐ

天神小では今年初めて、学校で防災キャンプを実施することになりました。学校で実施するにあたり、大和さんは学校の理解と協力を得るとともに、専門家にアドバイスをもらったり、地域・保護者に粘り強く説明したりするなど精力的な活動を展開し、実現するに至りました。

(8月19, 20日に行われた天神小防災キャンプの様子)



a 救急法。いざという時には、ダンボールを使って添え木にすることができます。



b 大震災が起きて校舎内に取り残されたけが人を子どもたちが救助にいく設定の訓練。けが人役は大和さんや保護者、先生です。  
c 重さ60kgの人形を担架に乗せて運ぶのは大変でした。階段に一苦労。でも人の命の重さです。

## 大和さんに、コーディネーターの仕事についてお話を伺いました。

### 1 本物のよさを伝えたい！

先生からの依頼を受けて、様々な授業をコーディネートしてきました。「ニュース番組を作ろう！～天神ニュース」ではプロのアナウンサーや報道関係者を招いて詳しくアドバイスしてもらいました。また伝統楽器の学習では「笙(しょう)」という雅楽の楽器演奏者を紹介して演奏を披露してもらいました。東京フィルハーモニー交響楽団を招いて開催したコンサートには、地域の方がたくさん来てくれました。本物に触れることで子どもたちの表情も変わってきますし、たくさんの人をひきつけることができます。

### 2 子どもたちと地域のかかわりを大切に！

地域での防犯や防災は、まず地域の方々に子どもたちの顔を覚えてもらうところから始まります。顔が分からなければ、いざというときに助けてもらえないですね。そこで、防災キャンプをはじめ、年末の町内防火パトロールへの子どもたちの参加、天神なかよしまつりなど、地域や保護者の方と子どもたちが一緒に活動するような企画を数多く実施してきました。地域の様々な行事をうまく活用することで、子どもたちと地域が触れ合えるようにしたのです。

## 今回御紹介するコーディネーター

やまと りょうこ  
大和 涼子さん

新宿区立天神小学校  
スクールコーディネーター



平成15,16年度の2年間の天神小PTA会長を経て、平成17年度より同校のスクールコーディネーターとして活躍。「子どもたちの心を豊かに」をモットーに、会長時代に築き上げた豊かな人脈と抜群の企画力・実行力を生かして、地域と学校を結びつけるための様々な活動を展開中。

## 新宿区スクールコーディネーター制度

平成16年4月より全国に先駆け区立小中学校に配置。地域の多様な人材や教育資源を学校に導入し、子どもたちの学習活動や体験活動を充実していくとともに、より地域に開かれた学校づくりを助け、学校と地域と家庭をつないでいくなどの重要な支援機能を担っていく。

### 新宿区におけるスクールコーディネーターの主な活動

- 週一回程度学校訪問し、職員室に在席します。
- 学校の依頼に応じ、「総合的な学習の時間」における地域の人材・資源の確保、学校行事や部活動等での地域人材のコーディネート、PTA支援としての家庭教育学級・講座や自主事業のための講師、ボランティア探し、その他情報の提供などを行う。
- 放課後や土・日曜日に学校施設を活用する「子どもの居場所づくり」を行う。

### 3 豊かな心を育てていきたい

今の子どもたちは、誰かに優しくされたり、大事にされたりする経験が少ないのではないかと感じます。ですから、地域と学校が一体となった様々な活動を通して大人と子どもが触れ合い、地域の大人が子どもたちを大事に、そして優しく接していくことで、子どもたちの心を豊かにしていくことができると考えています。人に優しくされて育った子どもは、優しい人になるものです。

### 終わりに

「人を集めるのに苦労することもあります。行事に参加してくれた人たちが喜んでくれて、また参加したい！と言ってくれたときが、すごくうれしいです。」とお話してくださいました大和さん。皆さんの地域でもこのような連携にチャレンジしてみませんか！